

農林漁業体験の機会の提供

令和4年度補正消費・安全対策交付金 地域での食育の推進事業

棚田で食育を！土と水、光と風と、なかよく。

事業実施主体：特定非営利活動法人棚田LOVERS(兵庫県)

- 2019年から兵庫県「子ども食堂」応援プロジェクトの認定を受け、子ども食堂で食育活動を実勢し、地域における共食の場の提供に努めている。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域や外出する機会が減るとともに、地域における共食の場が減ったことから、子ども食堂の取り組みの中で、地域食文化の継承や日本型食生活を実践する機会の場を提供する。
- お米、大豆、旬の野菜の生育から消費に至るまでの過程を学ぶため、農作業体験(種まき、草取り、収穫等)や料理体験を実施し、地域コミュニケーションの活性化を図る。

兵庫県



【取組の内容】

- 毎月開催する農林漁業体験について、学識経験者を含めた企画検討委員会を定期的に開催し、農作業体験等を通じた食育の進め方について検討した。



検討委員会の様子

- 農業体験及び農作物の料理体験等

農作物の植え付けから収穫までの農作業を体験し、収穫した農作物を活用した料理体験を行い、試食した。



キュウリの植え付けの様子



キュウリの収穫の様子



マコモダケ※の料理体験の様子

※イネ科の植物で食物繊維が多く、タケノコのような触感のおいしい作物です。

【取組の成果】

- 取り組みを実施するにあたり、チラシの作成やSNS、ライブ配信等で定期的に情報発信したことから、参加者の増加や食育活動に対する理解や関心が高まった。
- 農林漁業体験や収穫した農作物の調理実習、試食により、日本型食生活に関する理解や地域農産物の魅力について再認識ができた。

【事業の目標】

- 農林漁業体験を経験した者の延べ人数

事業実施前 180人／年
→事業実施後 321人／年

- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす

事業実施前 66.4%
→事業実施後 96.4%

